

鵜 舟

目次 -CONTENTS-

特集 最新鋭高精度放射線治療装置ノバリスTx導入について	1
●特色ある診療内容：診療科・部門紹介ー小児科ー	2
●岐阜大学医学部附属病院 診療案内	3
●がん患者サロン（和み）の開設について	3
●位置図・岐阜バス岐阜大学病院行き系統・路線図・病院へのアクセス・病院駐車場のご案内	4
●心臓リハビリテーション紹介	5
●全国リレー記念植樹会	5
●患者サービスー医療連携センターの紹介ー	6

病院の理念と基本方針

あなたとの対話が創る信頼と安心の病院

●基本方針●

1. 患者中心のチーム医療を提供します。
2. 人間性豊かな医療人を育成します。
3. 先進医療の研究・開発・提供を実践します。
4. 地域医療への積極的参画と連携強化を図ります。

特集

最新鋭高精度放射線治療装置 ノバリスTx 導入について

岐阜大学医学部附属病院がんセンター 放射線治療部門長 林 真也

■高精度放射線治療装置ノバリスTxのご案内

最近の治療法の進歩により、がんを克服する人が増えています。がん治療の3本柱の1つである放射線治療は、最近の技術革新とともに進歩し治療効果が高く、また全身の負担が少なく副作用もかなり減っています。このたび岐阜大学医学部附属病院では、大学病院としては本邦初となる最新鋭高精度治療装置ノバリスTxが導入され、平成21年12月から稼働となりますのでご案内申し上げます。

■ノバリスTxとは

頭頸部、脊椎や肺、肝臓、前立腺等の体幹部のどの領域にも利用され、また大きな病変にも高精度放射線治療が可能な装置です。また治療中に腫瘍が体動で動いたとしても、ロボットカウチという装置がセットアップから治療中までリアルタイムに自動追尾、照射範囲の修正が可能な最新鋭の画像誘導放射線治療装置です。

■ノバリスTxでの放射線治療の特徴

- ①ピンポイント照射で低侵襲なため、効果が高く、なおかつ副作用が少ない
放射線を多方向から病変部の形状にあわせて照射、正常組織へのダメージを最小限に抑えるピンポイント照射が可能です。定位照射はもちろんIMRTと称される強度変調放射線治療も可能です。
- ②頭頸部および体幹部のどの部位にも適用可能である
- ③1回の平均治療時間が短い
画像誘導を用いた位置決め精度の向上で治療時間が短縮される(20分程度)。また赤外線カメラにより、患者さんの動きをリアルタイムにモニタリングし、安全な放射線治療を行います。
- ④痛みがない
患者さんの固定には、マスクやシェルといった、まったく痛みのない方法で固定し照射します。
- ⑤外来通院治療が可能である

■放射線治療専門医の診察

岐阜大学病院は岐阜県唯一の日本放射線腫瘍学会(JASTRO)認定施設です。岐阜大学の放射線治療は、放射線腫瘍医と言われる常勤放射線治療専門医スタッフが患者さんを診察し、様々な検査情報をもとに患者さんの体力や病気の進み具合に合わせて最もよい照射方法を決めています。また放射線の照射は、放射線治療専門技師が行っており患者さんには安心して放射線治療を受けていただけます。

■放射線治療外来初診受診の方法

月、水、金の初診日に来院、診察をうけることも可能ですが、できる限り放射線治療外来の診療予約をお取りすることをお勧めします。



●画像誘導(IGRT)を用いた位置決め精度の向上と治療時間の短縮



●岐阜大学附属病院がんセンターホームページ：<http://hosp.gifu-u.ac.jp/center/gan/index.html>

●日本放射線腫瘍学会ホームページ：<http://www.jastro.jp/> ●ノバリス：<http://www.novalis.co.jp/>



特色ある診療内容：診療科・部門紹介 — 小児科 —



小児科は、小児の総合診療科と小児疾患の専門診療科の機能を持っています。お子さんの場合はどの科を受診してよいか迷われた場合は総合診療科として小児科受診をしていただくことをおすすめします。病状により必要であれば適切な他科との連携で診させていただきます。岐阜大学医学部附属病院の小児科は、小児アレルギー、感染、免疫、神経、代謝、遺伝、血液腫瘍、循環器、新生児発達、心身症、内分泌、肝臓、消化器、腎臓などの専門外来があり、高度な専門診療をおこなっております。

岐阜大学医学部附属病院小児科の特色ある診療について

- 1) 気管支喘息のテーラーメイド医療
- 2) 食物アレルギーの「食べて治す」治療
- 3) 遺伝性疾患・神経性疾患の遺伝子診断とカウンセリング
- 4) 代謝性疾患の酵素補充療法と免疫不全症のタンパク補充療法
- 5) 血液腫瘍に対する骨髄移植



▲ゆったりとした診察室



▲ブレイルーム・待合室

各診療内容について

1) 小児アレルギー疾患

アトピー性皮膚炎・気管支喘息・じんま疹・食物アレルギー・運動誘発喘息などアレルギー疾患全般を対象としています。食物アレルギーでは、世界的なレベルの高い病態解析から非即時型反応の概念を打ち出し、抗原特異的リンパ球幼若化反応およびサイトカイン産生、食物負荷試験などを診療に取り入れ、過度な除去食療法をしないように努めています。気管支喘息では世界的なアトピー遺伝子の解明を行っており、それにもとづく遺伝子診断および予知、予防とテーラーメイド治療を行います。重症アトピー性皮膚炎・喘息患者では簡易クリーン装置を用いた治療で著明な改善を得ております。ハイリスク児を対象とした予防接種も行います。

2) 免疫および感染

感染症全般の診断・治療を行います。かぜや感染症にかかりやすい児、免疫不全症、自己免疫疾患（膠原病）などの診断と治療を行います。無ガンマグロブリン血症に対して定期的に補充療法を行っております。先天性免疫不全症の各病型の病因遺伝子解明と遺伝

子診断と治療を精力的に行います。特に、Ataxia-telangiectasia, Bloom症候群に対し効果的な治療を行います。世界に先駆けて明らかにしたIgG2欠損症の遺伝子診断も行います。

3) 神経・筋疾患

言語、運動発達の遅れから急性、慢性の神経筋疾患、てんかん患者に至るまでMRI・MRS・SPECTなどの最新画像装置や電気生理検査さらには遺伝子解析等を用いて診断、治療を行います。臨床心理士によるカウンセリングも行っております。

4) 先天代謝異常症

各種先天代謝異常症の診断と治療を幅広く行います。特にペルオキシソーム病、有機酸代謝異常症については国内でも有数のスクリーニング・診断・研究センターとして機能を果たしており、先進医療（培養細胞による先天代謝異常診断）も実施しています。治療として酵素補充療法や骨髄移植なども行います。

5) 遺伝相談

近年の遺伝子医療の進歩に対応し、患者さんへの正確な情報伝達とカウンセリングを目的として、生まれつきの病気だけでなく、成人してから発病する遺伝病についても対応いたします。お子さんのこと、ご自分やご家族のことで、遺伝について詳しく知りたい、相談したいという方のご相談に応じます。

6) 血液・腫瘍

白血病、悪性リンパ腫、神経芽細胞腫をはじめとする固形腫瘍等の悪性疾患の診断治療、また貧血、出血性疾患、溶血性尿毒症症候群など血液疾患全般の診断治療も行います。疾患に応じて化学療法の他に骨髄移植も行います。

(文責：松井永子)

●外来診察日一覽

凡例 ⊕:初診・再診 ○:初診 △:再診 休:休診

診療科 (臓器別名)	月	火	水	木	金	
内科	消化器内科	⊕	○	⊕	⊕	⊕
	循環器内科	⊕	⊕	⊕	○ ^{院内}	⊕
	腎臓内科	⊕	⊕	⊕	休	⊕
	呼吸器内科	⊕	休	⊕	⊕	⊕
	血液・感染症内科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	東洋医学	△ ^{午後}	△ ^{午後}	△ ^{午後}	△ ^{午後}	△
	糖尿病代謝内科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	免疫・内分泌内科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	神経内科・老年内科	⊕	⊕	⊕	休	⊕
総合内科	△	△	△	△	△	
外科	心臓血管外科	⊕	△	⊕	⊕	△
	呼吸器外科	⊕	△	⊕	⊕	△
	消化器外科	⊕	○	⊕	⊕	⊕
	乳腺外科	⊕	予約のみ	⊕	休	⊕
	甲状腺外科	⊕	△	⊕	⊕	△
	腎移植外科	休	△	⊕	⊕	△
成育医療科・女性科 (産科婦人科)	△	⊕	⊕	△	⊕	
整形外科	休	△	△	△	⊕	
脳神経外科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
眼科	⊕	⊕	休	⊕	予約のみ	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	⊕	⊕	休	⊕	○	
皮膚科	⊕	○	⊕	⊕	⊕	
泌尿器科	○	⊕	⊕	○	⊕	
精神神経科	⊕	△	⊕	△	⊕	
小児科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
放射線科	放射線診断、IVR	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕
	放射線治療	⊕	△	⊕	△	⊕
麻酔科・疼痛治療科	⊕	⊕	○※	⊕	⊕	
歯科口腔外科	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	
総合診療部	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	

※診察日は、変更する場合がありますのでご了承下さい。
※麻酔科疼痛治療科の初診は、特殊外来のみ、診療時間：10時～11時

受付時間/診察開始時間/休診日/面会時間

初・再診受付：8：30～11：00
診察開始時間：9：00～
休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始
面会時間：10：00～21：00

●外来受診の方法

- ◇初診の方は、1階ホールに設置の記載台にて診療申込書に必要事項を記入いただき、保険証を提示の上初診窓口で受付をします。受付後、それぞれの診療科をご案内します。
- ◇再診で予約なしの方は、再診窓口にて当日の予約をし、それぞれの診療科受付へお越しください。
- ◇予約のある方は直接2階の総合受付又は当該診療科の受付へお越しください。受付では、診察券を提示いただきます。受付担当職員が診察券を受付機に通すことによりそれぞれの診療科の受付が完了します。受付完了後は、各診療科の待合いでお待ちください。
- ◇各診療科待合いの大型ディスプレイに、ご自分の番号が表示されましたら診察室にお入りください。

●予約診療

- ◇本院は、基本的に再診は予約制となっています。初診で受診され、次回の診察が必要な場合には、医師が診察直後に患者さんと相談の上、次回の診察日及び診察時間を設定し予約します。会計窓口で会計処理の際、診察券の裏面に次回診察日時が印刷されます。
- ◇次回予約がなく、再度診察を希望される場合は、予約センター (058-230-6123・6124) にお電話いただき、診療予約をとっていただくこととなります。
- ◇予約がなく、直接来院された場合、再診窓口にて当日予約を取ることも可能ですが、この場合は当日に担当医が不在で、別の医師となることもあります。なお、初めて本院を受診される方及び本院の他の診療科を初めて受診される方は予約できません。

●診療費のカード払いについて

- ① 診療費のお支払いについては、下記のクレジットカードをご利用できます。
DC、UFJ、NICOS、VISA、Master、JCBの各種カード
1階ホールの自動支払機のみ取扱っています。窓口でのお取扱いはできません。
利用時間は、平日の9時から17時まで。(時間外及び土日祝祭日はご利用できませんのでご了承願います。)ご利用の際には「診察券」が必要です。
- ② お支払いは、すべて「1回払い」のみの取扱いとなります。(分割/リボ払いはできませんので、ご了承願います。)
- ③ ご利用の際には、「暗証番号」が必要になります。「暗証番号」の問い合わせは、クレジットカード裏面にある各カード会社連絡先までお願いします。
【お知らせ】平成22年1月より夜間受付の自動支払機で夜間(休日を含む)のクレジットカード払いのみが可能になる予定です。

がん患者サロン(和み)の開設について

患者さんの目線でああなたの悩みをお聴きします。

がん患者及び家族等への正しい情報の提供、がん患者とその家族の苦痛の軽減及び療養生活の質の向上を目指すことを目的とした「がん患者サロン相談員設置事業」が岐阜県から委託され、本年6月から、がん体験者の方を相談員として本院がんセンターに配置いたしました。
相談員は、毎週水曜日及び金曜日の2日間において、がん患者さん及びその家族の方が抱えているさまざまな心配事、悩みや不安な気持ちについて、自らが、がん体験者として同じ立場でお話をお伺いします。

毎週水曜日は、附属病院1階の相談室に、がん患者サロン(和み)を開設していますので、お気軽にお立ち寄り、ご利用ください。

がん患者サロン(和み(なごみ))

開設日時:毎週水曜日【祝祭日・年末年始を除く】
(午前)10時～11時30分(午後)1時～3時
場所:附属病院1階 相談室(総合診療部受付前)
利用:無料 各種パンフレット、DVD、冊子の閲覧の場も用意しております。
問い合わせ先:岐阜大学医学部附属病院 がんセンター
TEL.058-230-7036

心臓リハビリテーション紹介

心臓リハビリテーションにより心臓病の予後改善を目指す

循環器内科 科長 湊口信也

本年5月から心臓リハビリテーション室を開設いたしました。狭心症、心筋梗塞、心不全、心臓手術後の患者さんは、安静にしていなければいけないと考えられがちですが、最近の研究から、心臓の機能が低下している患者さんも運動することによって心機能が改善することが明らかとなりました。心臓リハビリテーションは、事前に運動の施行が可能かどうかの検査を行い、循環器医師が判断して可能と判断された場合に、運動処方を決定し、その処方に従って心臓リハビリテーションを行っていただきます。医師、看護師、理学療法士の指導のもと、まず、ウォーミングアップのストレッチを行い、血圧と心拍数を測定し、自転車こぎ（エルゴメーター）あるいは歩くトレーニングマシン（トレッドミル）によって軽い負荷をかけた運動を行っていただきます。心臓リハビリテーションを継続的に行うことにより、心臓病の予後を改善することが明らかになってきました。岐阜大学病院では、心臓病の予後改善のための一つの方法として、心臓リハビリテーションに積極的に取り組んでいきます。



全国リレー記念植樹会

(骨髄移植1万例、臍(さい)帯血移植5千例達成)

骨髄バンクを介した骨髄移植が全国で一万例、臍(さい)帯血移植が五千例を突破したのを記念した全国リレー植樹が4月25日(土)に当病院で行われ、岐阜県、岐阜県赤十字血液センター、岐阜大学の関係者と患者らが県内の骨髄移植などの治療発展を祈念して桜の苗木の植樹を行いました。骨髄や臍帯血の移植は、白血病などの血液疾患の治療法のひとつです。県内には、骨髄バンクの移植や採取を行う骨髄移植推進財団の認定病院がありませんでしたが、平成20年に当病院が認定されました。多くの方の協力が得られるよう、また骨髄バンクへの理解の広まりを願って、風雨の強い最悪の天候の中、参加した子供たちが植樹を行いました。



医療連携センターの紹介

医療連携センターでは、表に示す患者さんやご家族からの相談をお受けしています。
 医療連携センターは、病院玄関近くにあります、10人のスタッフがお待ちしています。
 相談は、できるだけ事前に電話等で相談日時を予約の上、お越しいただきますようお願いいたします。
 その他、医療機関からのFAXを利用した患者さんの診療等予約（午前8時30分から午後5時）も行っています。

相談内容	相談時間等	相談内容等
女性専門相談	予約制 月曜日14:00～16:00	女性医療スタッフによる健康相談
こころの相談	予約制	療養に関する心理的・社会的な相談
看護相談	随時	患者さんご家族の療養についての相談 在宅看護・退院に伴う相談
医療福祉相談	8:30～17:00	医療費・生活費などの経済的問題や社会福祉制度の相談 療養生活、転院、退院に伴う相談
がん相談	9:00～16:00	がんに関わる医療やがん患者さんの生活についての相談
難病相談	8:30～17:00	難病の患者さんが安心して住みなれた地域で療養できるための相談
セカンドオピニオン	予約制	診断や治療法について主治医以外の意見を聞くことに関する相談
要望、苦情等	8:30～17:00	診療についての要望、苦情等の受付

医療連携センター TEL 058-230-7033 FAX 058-230-7035

看護師募集!!

＝明日に向かって羽ばたこう＝

- ◆平成20年5月1日から7対1看護師配置を実施しています。
- ◆常勤・パートタイマー看護師ともに募集しています。
- ◆勤務形態・配置場所・採用日など相談に応じます。
- ◆いろいろな経歴の看護師が活躍しています。
- ◆育児部分休業や夜勤専従を導入しています。
- ◆大学保育園「ほほえみ」があります。

* 病院見学及び詳細な説明をご希望の方は下記にご連絡ください。

医学部附属病院総務課人事係：058-230-6055 看護部事務室：058-230-7287



初期後期臨床研修医募集!!



未来のシステムを先取りしたトータル・インテリジェント・ホスピタルで医師としての第一歩をスタートさせ、地域医療に貢献しませんか？
 詳細は下記まで

医学部附属病院総務課人事係
 TEL：058-230-6055
 E-mail：gjha01007@jim.gifu-u.ac.jp